

議事(3) 次期吉田町総合戦略骨子（案）について

1 今回御審議いただきたいこと

第1回総合計画等審議会（以下「前回審議会」）にてお示し、御承認いただいた「(8) 総合戦略の取りまとめ構成イメージ」として作成した骨子（案）における以下の記載内容。

「基本的方向」・「具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）」・「主な取組」

※一部、前回審議会で決定した基本目標の文言修正(案)についても御審議をお願いします。

【参考】前回審議会で説明・審議・決定したこと

○事務局から総合戦略における背景、町総合戦略の基本的な考え方、次期総合戦略の方向性を説明

○方向性として以下を審議・決定

名称	吉田町デジタル田園都市構想総合戦略
基本目標及び体系	下段図のとおり
総合戦略の位置づけ	・本町の最上位計画である「第6次吉田町総合計画」の分野横断的な個別計画とし、策定事務の効率的な連携を図るとともに、計画相互の整合性を図る。 ・総合計画における各分野の施策のうち、主に前期基本計画の重点プロジェクトに設定した取組や国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」における施策の方向を踏まえた施策を取りまとめ、重点的に取り組んでいく。
次期総合戦略の策定方針	・次期総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」及び静岡県が令和4（2022）年3月に策定した「静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン」の内容を踏まえて策定。 ・また、変化する社会経済情勢や住民ニーズへの確かつ柔軟に、スピード感を持って対応ができるよう、必要に応じて見直しを行う。
計画期間	4年間（令和7（2025）年度から令和10（2028）年度まで）
基本目標及び数値目標 重要業績評価指標（KPI）	次ページのとおり

（図）

<次期吉田町総合戦略の基本目標及び体系>

1 「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する

2 本町における安定した雇用を創出する

3 本町への新しいひとの流れをつくる

4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

5 本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

デジタルの力を活用

デジタル実装の基礎条件整備

- デジタル基盤の整備
- デジタル人材の育成・確保
- 誰一人取り残されないための取組

基本目標及び数値目標

基本目標 1		「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する		
数値目標		単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
1	シーガーデンシティ構想の具現化 (レベル2の津波防潮堤の整備率)	%	47 (令和4年度)	100
基本目標 2		本町における安定した雇用を創出する		
数値目標		単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
1	一人当たり町民所得	千円	3,376 ※令和5年度公表値	県平均※以上の維持
2	地域経済成長率	%	2.8 ※令和5年度公表値	プラス成長の維持
基本目標 3		本町への新しいひとの流れをつくる		
数値目標		単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
1	人口の社会移動(転入者数－転出者数)	人/年	113 (令和5年)	転入超過
2	観光交流客数	人/年	197,774 (令和4年度)	
3	シーガーデンシティ構想の具現化 (賑わい創出整備率)	%		
基本目標 4		若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
数値目標		単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
1	合計特殊出生率	—	1.41 (平成30～令和4年) ※令和6年度公表値	向上
2	保育所の待機児童数	人/年	0 (令和4年度)	維持
基本目標 5		本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる		
数値目標		単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
1	今後も町内に住みたい町民の割合	%	84.1 (令和4年度)	増加

※ 基準値は直近年もしくは年度の数値での設定予定

重要業績評価指標 (KPI)

総合計画と総合戦略の関係性保持のため、各基本目標に沿った実施計画を含む総合計画(前期基本計画)で設定した「分野の主な成果指標」を設定することとする。

2 現行戦略（第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略）と次期戦略（吉田町デジタル田園都市構想総合戦略）との比較

(1) 現行戦略から踏襲する点

国の示す4つの基本目標と町独自の視点である「安全・安心の提供」を加えた、5つの基本目標の継承。

○国の施策の方向

- ① 地方に仕事をつくる・② 人の流れをつくる・③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

○当町独自の視点「安全・安心の提供」

※ 国の総合戦略においても、「これまでの地方創生の各種取組についても、デジタル活用に限定することなく、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要である。」とされているため、継承を基本路線とする。

(2) 次期戦略において加わる点

本町の実情に応じてあらゆる分野でデジタル技術を有効に活用しつつ、デジタルトランスフォーメーション（DX）を強力に推進すること。

⇒重要業績評価指標（KPI）の設定や戦略内での主な取組に位置付けることで、デジタル活用の取組を促進する。

(3) 次期戦略において留意している点

- ・ 本町の最上位計画である「第6次吉田町総合計画」の分野横断的な個別計画とし、策定事務の効率的な連携を図るとともに、計画相互の整合性を図るものとする。
- ・ 総合計画における各分野の施策のうち、主に前期基本計画の重点プロジェクトに設定した取組や国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」における施策の方向を踏まえた施策を取りまとめ、重点的に取り組んでいくものとする。

※1 第6次吉田町総合計画前期基本計画・重点プロジェクト

津波防災まちづくり・治水対策の推進・賑わいづくり・誰もが暮らしやすい環境の整備
教育環境の充実・自治体DXの推進・多文化共生の推進

※2 現行戦略と次期戦略（素案）との数値目標、KPI等比較は次資料参考

【参考】総合計画と総合戦略について

- 総合計画は、まちづくりの中長期的な方向性を示したものであり、日常生活に関わる様々な行政サービスをはじめとして、福祉や教育の充実、都市基盤の整備、産業の振興など、本町が取り組むすべての施策の方向性を示すもの。
- 総合戦略は、総合計画の分野別計画の一つとして位置づけ、人口減少克服と地方創生に主眼を置いた施策の体系化を図り、将来の人口展望を見据え、各種の個別計画との整合を図りながら、分野横断的に推進していくための方向性を定めるもの。

＜基本目標＞

- 1 「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する

＜数値目標＞

- 1－1 シーガーデン（海浜回廊）の盛土整備率
【基】30％・【目】69％(達成期限/令和6年度)
- 1－2 地域防災指導員の増員
【基】50人・【目】110人(達成期限/令和6年度)

分 野	具体的な施策	重要業績評価指標（K P I）
(1) シーガーデンの整備促進	① 防災機能を備えた多目的広場の整備	○ 施設整備率 【基】24.9％【目】100％
	② 漁港施設等の耐震・耐津波強化	○ 漁港施設等における L2 地震及び津波に対応した施設整備計画の策定率 【基】0％(令和元年度)【目】100％
	③ 防潮堤の整備のための盛土材の確保（川尻工区）	○ 防潮堤完成までの間、盛土材の確保率 【基】40.6％【目】100％
(2) 国土強靱化の取組推進	① 国土強靱化地域計画に基づく施策の推進（治水治水対策の推進）	○ 住吉地区浸水対策計画の策定率 【基】0％(令和元年度)【目】100％（令和5年度末までに完成）
(3) 地域防災力の強化	① 地域防災指導員養成講座の開催により指導員を増やす	○ 地域防災指導員が2人以上いる自主防災会の割合 【基】68％【目】100％
(4) 消防団組織の充実	① 消防団協力事業所表示制度登録事業所数を増やすことにより団員の環境改善を図る	○ 消防団協力事業所登録事業所数 【基】13件【目】20件
	② 女性消防団員の増員による災害啓発・予防活動の充実を図る	○ 災害啓発・予防活動を行う女性消防団員数 【基】4人【目】10人

＜基本目標＞

- 1 「津波防災まちづくり」による安全・安心な町土を形成する

数値目標	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
シーガーデンシティ構想の具現化（レベル2の津波防潮堤の整備率）※	％	47(令和5年度)	100

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1. 津波防災まちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
住吉工区の防潮堤盛土の整備率	％	0(令和5年度)	100
木造住宅の耐震補強工事実施件数（累計）※	件	176(令和5年度)	289
《主な取組》			
・全周防御の整備促進（住吉工区の防潮堤整備、吉田漁港の L2 津波対策の推進、大井川及び坂口谷川堤防嵩上げ） ・津波避難タワー、川尻防潮堤及び防災公園等の維持管理 ・防災資機材の整備 ・上下水道施設の耐震化 ・木造住宅の耐震化及びブロック塀撤去に対する支援			

2. 水害対策の推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
大幡川・大窪川・第2大窪川の改修率	％	25.1(令和5年度)	29.4
治水対策新規事業着手の箇所数（累計）※	件	1(令和5年度)	6
《主な取組》			
・大幡川水系（大幡川・大窪川・第2大窪川）の護岸改修の実施 ・坂口谷川流域の治水対策の実施（第3号ポンプ場増強、第1排水機場増強、第4号ポンプ場増強等） ・湯日川流域の治水対策の実施（貯留施設（学校、公園等）の整備等） ・西の宮雨水幹線の整備			

3. 地域の安全力強化

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
吉田町地域防災指導員養成講座の受講者数（累計）※	人	210(令和5年度)	310
消防団員数	人	120(令和5年度)	150
《主な取組》			
・町公式 LINE 等 SNS を活用した防災情報の発信 ・自主防災会資機材の整備支援 ・自主防災組織の強化 ・防災講演会、防災出前講座の実施による防災意識の啓発 ・地域防災指導員及びジュニア防災士の養成講座の実施 ・避難所運営マニュアルの作成 ・デジタルを活用した防災訓練の実施 ・デジタルを活用した防災教育の検討・実施 ・青色防犯パトロールの実施や防犯まちづくり推進協議会と連携した防犯活動の実施 ・防犯灯や防犯カメラの設置 ・交通指導員や交通安全団体と連携した交通安全対策の実施 ・交通安全施設の整備（町道の区画線復旧、「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づいた点検及び対策の実施等） ・消防力及び防災力の体制強化・消防団活動の支援（消防団員の待遇改善、消防設備の更新等）・消費生活相談員による相談窓口設置			

＜基本目標＞

2 本町における安定した雇用を創出する

＜数値目標＞

- 2－1 企業立地件数
【基】6件(平成27年度～令和元年度までの新規工場立地件数)・【目】7件(達成期限/令和6年度)
- 2－2 雇用創出数
【基】300人(平成27年度～令和元年度までの新規工場立地による雇用者数)・【目】350人(達成期限/令和6年度)
- 2－3 創業者数
【基】15件/年・【目】15件/年
- 2－4 新規漁業従事者数
【基】16人(平成27年度～令和元年度までの実績)・【目】20人(達成期限/令和6年度)
- 2－5 インターンシップ参加者数（累計）
【基】78人・【目】150人(達成期限/令和6年度)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標（K P I）
(1) 企業誘致活動の強化	① “ふじのくに”のフロンティアを拓く取組に係る物資供給拠点確保事業地内への商業施設誘致	○ 商業施設誘致件数（累計） 【基】4件（令和元年度）【目】5件
	② 関係機関との連携による企業誘致用地の情報収集と情報提供	○ 企業立地相談件数 【基】10件/年【目】12件/年
	③ 企業への支援及び雇用に対する支援の強化	○ 新規企業からの補助金相談件数 【基】9件/年【目】10件/年
		○ 既存企業からの補助金相談件数 【基】6件/年【目】10件/年
(2) 創業支援活動の強化	① 創業支援事業の推進	○ 創業支援センター利用者数 【基】1件/年【目】3件/年
		○ 創業支援対象者数 【基】23件/年【目】30件/年
(3) 水産業への支援の充実	① 新規漁業就業希望者への就業支援の充実	○ 漁業就業相談件数 【基】1件/年【目】5件/年
(4) 企業や大学等との関わりの強化	① 産学官の連携強化	○ インターン先企業の開拓 【基】32件【目】40件
	② 大学等と連携した新商品・サービス開発の支援	○ 大学等と連携した新商品等の開発（累計） 【基】1件【目】2件

＜基本目標＞

2 本町における安定した雇用機会を創出する

数値目標	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
一人当たり町民所得	千円	3,376(令和5年度公表値)	県平均以上の維持
地域経済成長率	%	2.8(令和5年度公表値)	プラス成長の維持

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1. 新たな働く場づくりと雇用の創出

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
企業進出件数（累計）	件	0（令和5年度）	5
産業振興事業補助金（新規創業事業）の交付件数（累計）	件	20（令和5年度）	52
合同企業説明会参加企業数（累計）※	企業	31（令和5年度）	105
《主な取組》			
・製造工場や物流施設などを新設・増設した企業の用地取得費、新規雇用に対する助成 ・遊休地情報の発信 ・経済団体や金融機関と連携した中小企業者の生産性向上支援 ・関係機関と協働した合同企業説明会の開催 ・創業支援ネットワークにおける各支援機関と連携した相談体制の整備やセミナーの開催、窓口の設置、創業・新規開業の財政支援、創業支援拠点の運営 ・UIJターン事業の推進（From Yoshida 若者応援プロジェクト） ・高齢者の就労の支援（シルバー人材センターの活動支援）			

2. 農水産業の振興

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
認定農業者等への農地集積率	%	62.4(令和5年度)	78.0
荒廃農地面積	ha	14.4(令和5年度)	12.7
漁港施設の長寿命化計画の更新	%	0（令和5年度）	100
《主な取組》			
・認定農業者等への農地斡旋 ・新たに就農を目指す担い手の確保及び支援 ・荒廃農地を再生しようとする農業者への支援 ・水産業の維持・発展、担い手の確保（新規漁業就業者の確保に向けた漁協との連携） ・就労環境の維持・向上（新技術を活用した漁港施設の維持管理） ・漁港漁場の環境改善による生産性の向上（流木等の海掃、航路等の浚渫工事） ・水産資源のプロモーション活動			

＜基本目標＞

3 本町への新しいひとの流れをつくる

＜数値目標＞

3－1 観光交流客数

【基】 296,646 人/年・【目】 500,000 人/年(達成期限/令和 6 年度)

分 野	具体的な施策	重要業績評価指標（K P I）
(1) 賑わい創出のための取組の強化	① 民間事業者との連携による「シーガーデンシティ構想」の推進	○ シーガーデンシティ構想への民間事業者の参画件数 【基】0 件（令和元年度）【目】5 件
	② 民間事業者等による大規模イベント開催の支援	○ カムカム補助金対象イベント件数 【基】3 件【目】5 件
(2) 新たな観光スポットの創出	① 沿岸部に整備する海浜回廊や多目的広場などを新たな観光資源として活用	○ 水産振興拠点の整備 【基】0 件（令和元年度）【目】1 件
	② 展望台小山城周辺や吉田公園などの既存の観光資源の魅力向上	○ 展望台小山城入場者数 【基】14,018 人【目】18,700 人
(3) 町の魅力情報発信強化	① 定住者や交流人口の増加に向けた効果的な町の魅力情報発信	○ 転入超過人数（社会動態） 【基】+51 人/年【目】+50 人/年以上
	② 情報発信における観光客への対応の強化	○ 無料 Wi-Fi スポットの設置数（累計） 【基】2 箇所【目】10 箇所
	③ PR キャラクター「よし吉（きち）」を活用した町の魅力発信	○ 着ぐるみ貸出による PR 件数 【基】11 件/年【目】12 件/年
(4) 定住促進支援事業の推進	① 新築住宅取得の促進	○ 新築住宅の着工戸数 【基】112 件/年【目】150 件/年
(5) 外国人対応力の強化	① 町内における滞在環境の充実	○ 案内看板（多言語化）の設置数（累計） 【基】1 箇所【目】10 箇所

＜基本目標＞

3 本町への新しいひとの流れをつくる

数値目標	単位	基準値	目標値 (令和 10 (2028) 年度)
人口の社会移動（転入者数－転出者数）	人/年	113（令和 5 年）	転入超過
観光交流客数	人/年	256,779（令和 5 年度）	300,000
シーガーデンシティ構想の具現化（賑わい創出整備率）	%	5（令和 5 年度）	100

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1. 移住・定住の促進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和 10 (2028) 年度)
新婚生活応援補助金交付件数（累計）	件	10（令和 5 年度）	69
日本語教室等の実施回数	回/年	32（令和 5 年度）	43

《主な取組》
・移住相談受付（電話、来庁、オンライン） ・県による首都圏やオンラインでの移住相談会への出展 ・新たな移住推進施策の検討・実施 ・土地区画整理事業の推進 ・空き家バンク制度の周知 ・公営婚活事業の連携推進 ・結婚新生活に係る支援 ・外国人の定住支援（多文化共生コーディネーターの配置、多言語による情報発信、窓口等への翻訳機設置、日本語教室等の講座や交流イベントの開催・支援）

2. 関係人口・交流人口の拡大

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和 10 (2028) 年度)
吉田カムカム補助金交付件数	件/年	3（令和 5 年度）	5
吉田漁港多目的広場を活用したイベント開催回数（累計）	回	0（令和 5 年度）	15
ふるさとよしだ寄附金受入れ金額	円/年	1,122,463,000（令和 5 年度）	1,594,100,000

《主な取組》
・しずおか中部連携中枢都市圏や福岡県八女市との連携・交流 ・ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進 ・関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進（新規イベントの誘致、既存イベントの実施内容拡充、多目的広場の利活用）
◆観光資源・インフラの整備 ・展望台小山城駐車場整備 ・東名吉田インターチェンジ周辺の交通結節機能向上（シーガーデンシティ構想） ・県営吉田公園周辺の賑わい施設整備（シーガーデンシティ構想）
◆イメージ・知名度の向上 ・町のブランドメッセージ発信や PR 動画による町の魅力発信 ・Instagram、YouTube など SNS を活用した写真や動画による情報発信の強化 ・ゆるキャラや広報大使による町の広報 PR 活動・情報発信 ・イベント開催や地域のイベントの支援

＜基本目標＞

4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

＜数値目標＞

4－1 合計特殊出生率

【基】 1.73 【目】 2.07(達成期限/令和6年度)

4－2 児童生徒総数

【基】 2,439人（令和元年度） 【目】 2,500人(達成期限/令和6年度)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
(1) 結婚気運の醸成	① 出会いの場の創出	○ 出会いの場の提供件数 【基】1件/年【目】3件/年
(2) 妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援	① 妊娠から出産までの支援の充実を図るとともに、支援が必要な妊婦・子育て中の方を確実に把握し、正常な妊娠経過をたどることができるよう必要な継続支援を行う	○ 支援ニーズが高い妊産婦への支援実施割合 【基】100％【目】100％
		○ 「みんなおいで」参加者数 【基】0人/年(令和元年度)【目】100人/年
		○ 相談支援の研修への参加数 【基】23回/年【目】30回/年
		○ 子育て支援センター利用人数 【基】8,734人/年【目】15,000人/年
	② 子育て支援・相談体制の充実	○ 7か月児健康相談実施率 【基】97％【目】100％
(3) 子育てしやすい環境の整備	① 育児の負担軽減	○ ファミリーサポートセンター会員数 【基】101人【目】150人
		○ 月齢児保育の充実 【基】10人/年(9か月児からの受入れ) 【目】12人/年（9か月児からの受入れ）
		○ 保育所の待機児童数 【基】0人/年【目】0人/年（現状維持）
	② 子どもの居場所の整備、放課後子ども教室の拡充	○ 放課後児童クラブの待機児童数 【基】0人/年【目】0人/年（現状維持）
		○ 放課後子ども教室の設置 【基】2箇所【目】3箇所
	③ 企業・店舗を巻き込んだ子育てしやすい雰囲気の醸成	○ 県の子育て優待カード協賛吉田町店舗数 【基】53店舗【目】55店舗

＜基本目標＞

4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
合計特殊出生率	—	1.41（平成30～令和4年） ※令和6年度公表値	向上
保育所の待機児童数	人/年	0（令和5年度）	維持

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1. 結婚・出産・子育ての支援

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
妊娠出産等応援助成事業を利用した者の割合	％	100（令和5年度）	100
ファミリー・サポート・センターのサポート会員数	人	31（令和5年度）	40
子育て支援センター利用者数	人/年	7,864（令和5年度）	9,000
《主な取組》			
◆結婚希望の実現 ・公営婚活事業の連携推進【再掲】 ・結婚新生活に係る支援【再掲】			
◆出産希望の実現・切れ目ない子育て応援 ・不育症治療の支援（不育症治療費助成） ・出産・子育てを応援するアプリサービスの提供 ・妊娠初期からの包括的な支援（妊産婦及び乳幼児健診、パパママ教室、助産師や保健師等の専門職による相談支援と経済的支援等母子保健事業の充実） ・出産後の母親の不安・負担の軽減を図る産後ケア事業の推進・こども家庭センターの設置			
◆保育環境の向上 ・保育機能の充実（延長保育、病児・病後保育事業、一時預かり事業、休日保育の実施） ・障害児保育への対応の充実（障害を有している子供の保護者が安心して保育園へ子供を預けられる環境の整備） ・ファミリーサポートセンター事業の推進 ・子育て支援センター機能の充実 ・子育て中の親子が気軽に集い、交流や相談ができる居場所となるようなイベント開催 ・保護者の就労形態の多様化や核家族化などの社会の変化に対応できる放課後児童クラブの量の確保と質の向上 ・こども医療費の助成 ・ワーク・ライフ・バランスの推進（男女共同参画事業の推進など）			

分 野	具体的な施策	重要業績評価指標（K P I）
(4) 女性の活躍促進	① ワーク・ライフ・バランスの普及促進	○ 静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」事業所・団体数 【基】20 件【目】25 件
	② 男性の家事への参加に向けての支援	○ イクメン講座の実施 【基】1 回/年（令和元年度）【目】3 回/年
(5) 妊娠、出産について正しい知識の普及	① 中学生、新成人等又は妊婦自身に対し、結婚、妊娠、出産について正しい知識の普及	○ 妊娠や出産に関する講座実施回数 【基】11 回/年【目】11 回/年
		○ 育児に携わる機会への参加人数 【基】74 人/年【目】250 人/年
	② 不妊治療及び不育症治療についての情報提供と不妊治療及び不育症治療費助成事業の実施継続	○ 母子健康手帳の交付数 【基】218 件/年【目】240 件/年
(6) 産みやすい環境の整備	① 出産に伴う経済支援を行う	○ 妊娠出産等応援助成事業を利用した方の割合 【基】100 %【目】100 %
(7) 確かな学力の定着の促進	① 吉田町教育元気物語 TCP トリビンスプランの推進	○ 全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数の割合 【基】 小学校/ 20% 中学校/ 0% 【目】 小学校/ 100% 中学校/100%
	② 放課後サポート学習の充実	○ 放課後サポート学習に通って、わからないことがわかるようになった児童生徒の割合 【基】 小学校/94.62 %中学校/83.82 % 【目】 小学校/ 100 %中学校/ 100 %
	③ ALT の全校配置による英語教育の充実	○ ALT の参加する授業は楽しいと思う児童生徒の割合 【基】 小学校/ 77.3 %中学校/ 63.9 % （令和3年度） 【目】 小学校/ 100 %中学校/ 100 %
(8) 魅力ある教育システムの構築と質の高い教育の充実	① 吉田町版「幼・保・小中のつながりのある教育」の充実	○ 幼児教育カリキュラムに基づく幼児教育を実施する園の割合 【基】100 %【目】100 %
		○ 住民が幼児教育の充実に満足している割合 【基】39.3 %【目】80 %
		○ 住民が学校教育の充実に満足している割合 【基】37.1 %【目】80 %
	② ICT を活用した情報教育の充実	○ 授業でコンピューターなどの ICT をほぼ毎日使用した児童生徒の割合 【基】 小学校/3.6 %中学校/4.3 % 【目】 小学校/100 %中学校/100 % ○ 学習用コンピューター1 台当たりの児童・生徒数 【基】14.9 人/台【目】1.0 人/台

2. 次代を担う人材の育成

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10（2028）年度)
全国学力・学習状況調査の県平均正答率以上の科目数の割合	%	小学校：0 中学校：0 (令和5年度)	小学校：100 中学校：100
《主な取組》			
◆吉田町教育元気物語 TCP トリビンスプランに基づいた教育環境の充実 ・ I C T環境の整備（児童生徒一人一台端末の維持・管理、電子黒板、大型提示装置の配備・維持・管理、書画カメラの配備・維持・管理、教師用デジタル教科書の配布、Wi-Fi 環境の整備・維持・管理） ・ 個に応じた支援の充実（教員補助員の配置、放課後サポート学習の実施、学習支援ソフトの提供） ・ 外国語学習支援（A L Tの全校配置） ・ 教育相談体制の充実（教育相談員、スクール・ソーシャル・ワーカー、子どもと親の相談員などの配置）			
◆地域教育の推進 ・ チャレンジ教室の実施 ・ 家庭教育支援の推進 ・ 地域教育推進協議会への支援（補助金交付及び運営支援） ・ 子ども読書活動推進計画の推進 ・ 読書バリアフリー法に基づく蔵書の拡充 ・ ちいさな理科館講座の充実			

＜基本目標＞

5 本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

＜数値目標＞

- 5－1 バスなどの公共交通の充実に住民が満足している割合
- 【基】 13.9％ 【目】 20.0％(達成期限/令和6年度)
- 5－2 自立高齢者割合
- 【基】 86.3％ 【目】 86.3％(現状維持)
- 5－3 介護予防の自主活動回数
- 【基】 674回 【目】 758回(達成期限/令和6年度)
- 5－4 地域住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数
- 【基】 396人/年 【目】 450人/年(達成期限/令和6年度)

分野	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）
(1) 都市基盤の整備	① 新たな公共交通システムの構築	○ 吉田町地域公共交通網形成計画の策定 【基】0％(令和元年度)【目】100％(令和3年度末)
	② 路線バスの維持及び利便性の向上	○ 町内を運行するバス路線数 【基】4路線(令和元年度)【目】4路線(現状維持)
		○ ふじのくにフロンティア推進エリアの認定数 【基】0件(令和元年度)【目】1件
(2) 魅力的な地域の形成	① 東名高速吉田インターチェンジ周辺の整備	○ 町内バス停の乗降者数 【基】451,672人【目】474,200人
(3) 健康づくりの推進	① 特定健康診査・特定保健指導の受診率向上と受診しやすい体制づくりを図る	○ 国民健康保険被保険者の特定健康診査受診率 【基】39.8％【目】60％
	② 診療所数の現状維持	○ 内科診療所数 【基】7箇所【目】7箇所(現状維持)
	③ 自治会や各種団体のイベントにおいて、保健協力委員、健康づくり食生活推進協議会の自主活動により、健康課題に対する生活習慣改善について普及、啓発し、無関心層にも働きかける健康づくりの実施	○ 地域のイベントで健康づくりに関するコーナーを設けている数 【基】8箇所【目】9箇所以上
	④ 高齢者スポーツ教室の開設	○ 高齢者スポーツ教室の参加者数 【基】0人(令和元年度)【目】80人/年
(4) 高齢者の社会参加と生きがいの推進	① 吉田町シニアカレッジの充実	○ シニアカレッジ受講者数(累計) 【基】31人【目】100人
	② 自立した高齢者の支援	○ 高齢者人材活用センターで活動している高齢者の人数 【基】1,662人【目】2,000人
	③ 生涯現役人材バンク事業の推進	○ いきいきボランティア倶楽部に登録し活動している高齢者の人数 【基】102人【目】150人
(5) 介護予防の推進	① 介護予防に関する知識の普及、啓発の実施や地域における自主的な介護予防活動の支援	○ 介護予防に資する通いの場の数 【基】18箇所【目】25箇所
	② 介護予防に資する体操の普及	○ 介護予防体操の実施回数(累計) 【基】272回【目】1,860回
(6) 地域密着型介護サービスの充実	① 地域における介護サービスの充実	○ 介護老人施設の入所待機者数 【基】1人/年【目】0人/年
(7) 多文化共生の推進	① 住民と外国人との交流の場を創出する	○ 住民と外国人が交流を図るイベント等の参加者数 【基】396人/年【目】450人/年

＜基本目標＞

5 本町にひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

数値目標	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
今後も町内に住みたい町民の割合	人	84.1(令和4年度)	増加

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

1. 生活インフラの確保

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10(2028)年度)
内科診療所数	箇所	7(令和5年度)	7
町内バス停の乗降者数	人/年	436,972(令和5年度)	439,000
行政手続などに係るオンライン利用件数	件/年	42,379(令和5年度)	44,000
証明書のコンビニ交付の利用率	％	17.8(令和5年度)	50.0
ソーシャルネットワークサービス（SNS）フォロワー数	件	9,955(令和5年度)	18,875
《主な取組》			
◆交通環境の整備 ・地域公共交通の確保 ・幹線道路網の整備（大幡川幹線の整備） ・町内道路舗装修繕の実施 ・AI オンデマンド交通本格運行の検討			
◆デジタルを活用した住民サービスの向上 ・町ホームページにおけるチャットボット（行政手続などに関する質問や問合せに自動で応答するシステム）の導入 ・町公式 SNS の利便性向上（町公式 LINE をはじめとした各種 SNS のサービス充実による利便性向上） ・マイナンバーカードの普及促進（保有率の向上に向けた啓発活動の実施） ・証明書コンビニ交付の普及促進（交付率の向上に向けた啓発活動の実施） ・書かない窓口の推進（窓口での申請などにおける入力支援システムの導入を検討） ・行政手続のオンライン化等の推進（オンライン申請の推進、公共施設のオンライン予約システムの導入・スマートロックの導入の検討、電子入札の実施、電子契約の実施検討など） ・デジタルデバйд対策（スマホ教室の開催など）の実施 ・オープンデータの拡充（町が保有する様々なデータの公開の拡充） ・Wi-Fi 環境の拡充（公共施設等） ・キャッシュレス決済の拡充（行政におけるあらゆる支払手続のキャッシュレス化を推進） ・セルフレジの導入（会計窓口等） ・デジタルを活用した公共施設の点検・診断の実施			
◆その他 ・デジタル人材の育成（デジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できるようにする） ・医療体制の充実（診療所等開設補助金、榛原総合病院組合事業（負担金）） ・計画的な水道施設の更新 ・汚水処理人口普及率の向上（浄化槽設置費補助事業の推進、下水道接続の促進） ・ごみ減量・リサイクル意識の向上			

2. 誰もが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	単位	基準値	目標値 (令和10（2028）年度）
要介護認定率（調整済認定率）	%	14.2（令和4年度）	14.8以下
高齢者見守りネットワーク登録事業者数	事業所	52（令和5年度）	63
シルバー人材センター会員数（年度末会員数）	人/年	263（令和5年度）	280
各種大会、スポーツ教室等への参加人数	人/年	1,757（令和5年度）	2,600

《主な取組》
◆健康・福祉の推進 ・健康づくりの推進（特定健診・特定保健指導の実施、生活習慣病の予防啓発など） ・地域包括ケアシステムの深化・推進 ・在宅医療と介護の連携推進 ・生活支援体制の整備 ・認知症施策の推進 ・高齢者見守りネットワークの充実 ・高齢者の就労の支援（シルバー人材センターの活動支援）【再掲】 ・福祉相談窓口の充実 ・児童発達支援機能の強化 ・障害者に対する理解促進
◆生涯学習・スポーツの推進 ・生涯学習の推進（生涯学習教室、シニアカレッジ、大学特別公開講座等の開催、文化活動の支援） ・スポーツに親しめる環境づくり（駅伝大会、ソフトバレーボール大会等のスポーツ大会、よしスポサークル、ソフトランニング教室、シニアフィットネス教室やにこにこ健康体操、トータルフィットネス等の健康体力づくり教室） ・体育協会、スポーツ少年団本部への支援（補助金の交付）